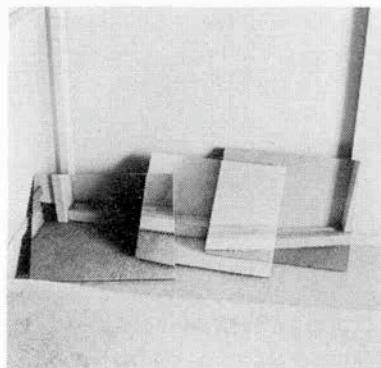


美術界期待の
齊藤智に

●選考委員

赤根 和生
乾 由明
増田 洋△美術評論家△
△美術評論家△
△県立近代美術館事務課長△

編集部 美術部門は、なかなか実力伯仲だと思うのですが、昨年の活躍ぶりから候補を挙げてください。

赤根 平面の方じや齊藤智。僕が企画した汎瀬戸内美術展の出品作もよかったです。小西保文△絵画△はもう受賞しているし。新谷秀紀△彫刻△は候補に上りながら地元神戸でまたもな展覧会をやつてないことが気になつたけど、去年は神戸まつりの時にぎやるり一神戸で個展をやりましたね。小品ばかりで大作がなかつたということでおなじみの欠けていたが、候補として挙げるべきだと思います。増田正和△彫刻△が個人の作

品で宇部野外彫刻展で受賞しているし、環境造形Qのメンバーとして製作したり、ポートアイランドにもQでやることになつて実質的によく活躍していますね。

増田 鄭相和△平面△が仕事を着実にやつてますね。これまで作品が構成的にやわらかかったのが今度はいいんではないかと思うのがシルクスクリーンをやつている服部三郎。今まで神戸でなかつたタ イプだし、沈滞しての版画界で一人気を吐いてるので注目したいし応援したい。それから名前が挙がりましたが増田正和。あと堀尾貞治△彫刻△がちょっと抜けきつていい仕事をしてきている……。あ

と新谷映子、新谷沢子△彫刻△が非常に頑張ってきた。ブルームール賞の対象にならないベテランのいい仕事が目立つて面白いですね。神戸大学を退官された上野省策△絵画△とか。全体的にみて神戸自体の作家活動というの個人的にはちょっと沈滞しているという感じですね。

乾 齊藤智は非常にいいと思いますね。去年、ジャパン・アート・フェスティバルで大賞を受賞しましたし、着実にやつていてるようですね。鄭相和の東京の個展を見たが、進境が著しく、彼も推したいですね。彫刻では増田正和。それと大西敏己△絵画△もいい。

赤根 彼はなかなかいいですよ。

乾 どちらかとていうとあまり表面に出でこない人なのでこういう機会に認めてやつたらいいと思いますよ。

赤根 彼は二紀会展でえびら会館

賞を受賞しましたね。仕事が緻密ですよ。僕はかいますね。あいの仕事は器用だったからできるのですがそれだけに粗もできやすい。それをうまくおさめている。

乾 器用じやかえってだめなんですよ。それを非常に真面目にやっている。まだまだこれからの人ですがよく頑張つてたと思う。

増田 ちよつと沈滯だと思うのは去年の県展で、いつもだと神戸か阪神間在住の作家が賞をかっさらうのに、みんな豊岡とか県北部の人を持っていかれた。だからウカウカでききない。地元の河口龍夫

△造形△植松奎二△造形△などのない間に、鬼のいぬ間に北の方から出てくるという感じですよ。

乾 それはいいことですよ。刺激がある……。

赤根 結局新しいものはそういう不毛の地から来るんですよ。いずれにしても。神戸はあまりにも豊かすぎる、ある意味じや。

乾 本当に新しい人が出なかつたですね。

増田 その県展の受賞者は綿田正人と北岡浩二という全くの新人で



増田 洋さん



乾 由明さん



赤根和生さん

子△平面△もやつてることはやつてあるけど同じような内容で……。

増田 個展活動という点から考えると、ペテランというか、そういう人達の方がよくやりましたね。上野省策とか山本万司とかの年配の方のほうが頑張つてたんですね。兵庫県の県展はフレッショマンが力だめしをするんですね。他県と違つて小さな美術団体をつくる、毎年総入れかえみたいものですよ。

編集部 環境造形Qは他にも戦没者慰、靈碑とかあじさい花壇などをやりましたね。

赤根 しかし、こうしてみると新しいものがない。

乾 本當ですね。たとえば神野聖

増田 個人の話を除くと神戸では話題の多い展覧会が相次いだんですよ。まず、南蛮美術館で河口龍夫、植松奎二の二人展がありましたでしょう。それから乾さんを審査委員長にしてやりました神鋼美術賞展。松本文子△平面△が受賞しましたが。

赤根 植松奎二は、もとと早く藤原向意△版画△などより前に出てきてもよかつたかわからんね。

乾 いつも候補に挙がつていたが神戸でやつてないし、それに神戸市文化奨励賞をとりましたしね。河口龍夫も井植文化賞をとりましたね。

乾 新宮晋△造形△のモニュメントが神戸駅前にできましたね。

増田 アートナウ'75では鄭相和。'76では藤本敬八郎△彫刻△小野田

出品しました。

乾 環境造形Qというものは小林陸一郎が入っているので面白い……。

増田 だいたいは小林のアイディアに増田正和、山口牧生／彫刻／が血肉をつけて出たわけですよ。

乾 グループといえばZEROですが、京都のアンデパンダンやアートナウ75に出してましたね。

赤根 ZEROも具体、グループ、ZEROという系列の中にあるわけですから、関西の血みたいなものがありますね。

増田 兵庫県彫刻家連盟というのがありますが、若い人たちがその中でちゃんと場所を持ち始めて、今までの統制に服するという感じでなくなってきたね。だから自信を持ってきたんじゃないですか、若い人達が。

赤根 齋藤智は、発表活動、作品編集部 この辺で候補をしぶっていただくと、どうなりますでしょうか。

増田 実際の空間と虚の空間とを混然と一つにしたということです：今までの美術界では三次元のところまで終わっているのに、彼は時間の経過の問題を作品の中に

入れて来ている。このことは後に続く若い人たちにとって、ブルーメール賞がまたブルーメール賞を生むのではないかという点でも評価しますね。増田正和ですが、僕個人としては昨年の須磨野外彫刻展の作品の方が好きなんで、今までの宇部の作品ではちょっと疑問点があるようと思うので……。

乾 齋藤智のような作品は、この頃多くなってきてるんです。それだけにパターが決まってしまつたやたらに同じような仕事が目につく中で、彼の作品は同じ写真をメディアに使っていても、ちょっと他にない。確かに時間の問題と空間のイリュージョンという問題を一つの作品の中で非常にうまく統一させている。そういう点がユニークで、三年くらい前からやっていることが、去年あたりはっきり成果が出てきたという感じです。日本全体の美術界でも彼の仕事ぶりは高く評価されていますね。こういう仕事は若い人にもかなり関心を持たれているだけに安易にやつてのけるんですが、そういう中で自分のものを持っているというの少ないんですよ。増田正和は須磨以来、それまでのものから一步出てきたという感じです。正和は須磨以来、それまでのもの立つが、もう一つの感覚だけという感じもする……。

増田 服部はかなりキヤリアもありますし、沈滯している神戸の版画界で彼だけがちゃんと仕事をしている点をかかっているんですけど。まあ、もう少しメルヘン的なねらいである幻想のようなものが加わればいいとは思いますね。

乾 鄭相和もいいんですけど……。赤根 以前は土俗的でしたね。鮮明度の薄いものを円形のフォルムで補っていた。今の無彩色を中心とした作品に見られるモヤモヤした明快さ、あのしつこさは、日本人の持つ器用さとは違った繊細なものとか色々なものがミックスされつと他にない。確かに時間の問題でいて素晴らしいと思いますね。

乾 いいですね、僕も賛成です。

赤根 デリケートで、味とかそういうものとは別な、非常に繊細で涙があふれるほど柔軟いものがあります。彼はどちらかというと目立たないからこういう場合でももれてしまふんですが、今日鄭相和の名前が出たということ是非常にうれしいですね。

増田 彼の存在は神戸ならでは、という気がしますね。

赤根 まあ、齊藤智、鄭相和、増田正和の三人の中からブルーメール賞を選ぶとすると……。

乾 その中で一番ブルーメール賞のブルーラしいという点では齊藤智でしようね。

増田 全員一致ということですね

’76月刊「神戸つ子」15周年記念

ブルーメール賞

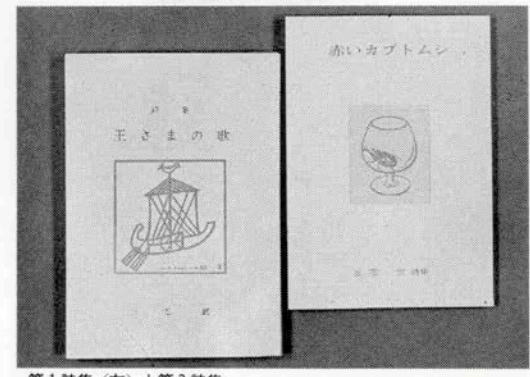
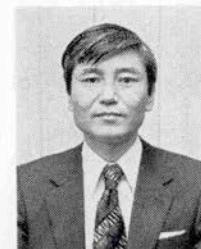
★文学部門選考座談会

“生活の詩”の三宅武に

●選考委員

竹中 郁
小林 武雄
杉山 平一

▲詩人▽
▲詩人▽



第1詩集（左）と第2詩集

竹中 杉山君、これはと思うよう
な新人があるかいな。

杉山 そうですね。神戸には「天
秤」「粒」「輪」「G」「第三紀層」
などの詩誌があり、「現代詩神戸
研究会」「灌木」「浮標」等、京阪
神では神戸と京都が多くて大阪は
余りないです。

小林 「演」「たうろす」などに拠
つてゐる詩人たち、「市民の学校」
神戸市の「ともづな」、神戸新聞や
毎日新聞、姫路の「鹽」、新日本
文学、詩人会議の支部などに詩を
書いてゐる若い人たち、その他に
年一回か二回ぐらい出でている詩
誌、文芸誌を数えるとかなりの人
数になるね。

竹中 今年詩集を出版した人から
ここ二年ほどを通じて一篇でも印
象に残った人、新人といえる人を

挙げたらどうや。僕は阪上新治
郎の詩集「虐」と渋谷江美の詩集
「手紙」を持ってきたけど、阪上
新治郎などはもう七十才だし物識
りだけれど年令的にこれから新し
い発展があると思えんし――。

小林 年令的といえば「半どん文
学賞」を受けた海尻巖など五十才
雨そのほか」坂田聖峯「ちび筆」
加古樹「刻」松尾茂夫「ガラス
越しの風景」岩淵欽哉「見えない
工場」三宅武「赤いカブトムシ」
井戸本耕三「径」等。他に今日は
どおり三、四十代までということ
にしたら。

杉山 神戸に在住、または神戸周
辺を発表の場としている人といふ

ことにいちおう限定したらどうで
すか。

小林 それではここに私が持つて
きた昨年度の詩集を挙げましょ
うか。まず海尻巖詩集、静文夫「彩
眠帖」、鳥巣郁美「背中を」、織田喜
久子「遺跡」、山本格郎「風紋」、蓬
萊隆次「残照の道」、君本昌久「時
雨そのほか」、坂田聖峯「ちび筆」
加古樹「刻」、松尾茂夫「ガラス
越しの風景」、岩淵欽哉「見えない
工場」、三宅武「赤いカブトムシ」、
井戸本耕三「径」等。他に今日は
すでに十数冊の詩集を出している
人たちもいる。野村修二は詩集を

身近かの人にだけ贈つており、玉岡、鳳の二人はポケット版のようだがテーマ詩を溢れるようなりズムで書き続いている詩集です。

竹中 その他にもこれはと思う詩人があるわけでしょう。

杉山 和田英子はどうでしょう。

川崎重工か、三菱重工かに勤めているらしいですが、詩を読んでいて彼女の生活構造が浮び上ってくる。しっかりと詩を書く人ですね。

小林 さきの第三紀層の詩人たちは、松尾茂夫、岩淵欽哉、三宅武たちは現代詩神戸研究会をずっと続けていて世代的には輪の会の中村隆、伊勢田史郎たちより一世代若い。

杉山 G、第三紀層の人達のことは全く知らないのですが、あの人たちの作品を読むだけで職業や、生活の背景などがわかつてきます。生活感情がしつかり出でている詩を書いているのですね。

小林 方法はそれぞれ違っているのですが、言葉を確めながら積みあげて行く、自分達の詩にして行つてますよね。

杉山 それから「たうるす」でしたかの同人で大学の教授でーー。

小林 小川正巳の詩集「世界と私」でしよう。

杉山 あれは思想詩ですね。イメージで書かないんですね。



竹中 郁さん



小林 武雄さん



杉山 平一さん

小林 詩人の良心みたいな詩です。あの詩集を読んでいる間ぢゅう詩人の悶えに、あの誠実な言葉に胸を刺される思いでした。

杉山 大学紛争のとき学生の側に立つて深刻に悩んで病気になつて

しまいました。自分の悩みというか世界との関わりについて書いてます。私も熟読しましたが、難かしいことですね。こういう人は詩壇とは全く関係がないし、評価されない人ですね。

竹中 多田智満子といつた有名な詩人がいますから目立たないだけで秀れた詩人です。

竹中 多田智満子といえば歌集を出した。俳人の永田耕衣もだろう。

小林 私はみてないのですが多田智満子の「四面道」という詩画集を全く文学とは無縁の友人が買っていますが、塙本邦雄、永田耕衣などの稀観本を買いしめて嬉こんでいるんですね。

竹中 俳人歌人がお道楽で書画を書いて売るなどあまり感心しないね。耕衣も俳句はよいが。

小林 昔から文人画というジャンルのようなのがあるでしょう。現代では早川幾忠の書画など代表的で秀れてるが。

竹中 あれは立派な芸術品ですよ

小林 俳歌壇には宗匠制みたいなもの、そういう人間関係による購買層、購売力みたいなものが素地としてあるわけだけど、タレントに書かせて商品として売出せば商売として成立つ要素、社会的ニードも一部はある。また「詩とメルヘン」といった詩画集が若い層の間で上昇的人気を示しているし、フォークなどの流行で音楽との間でも詩の次元が変つてきている。

杉山 「詩とメルヘン」なども小林さんは読んでいるんですか。

かわり合い、マスメディアを考え
ておかないとと思つてなんでも観
てあります。資生堂の「花椿」にい
たるまで見てますが、いまの子

供のように漫画は見ても、まだ漫
画を読むというには抵抗がありま
すけど——。「一冊の詩集を読む
とき、一人の詩人とまともに向
かっている。詩集を読むのしみ
もこわさもそこにある」安水稔和
が毎日新聞の評のはじめに書いて
いたが仲々の見識だと思いまし
た。私などは最つ先に人が浮んで
胸につかえてしまう。だから蓬萊

隆次、山本格郎、鳥巣郁美、静文
夫、織田喜久子、君本昌久など永
い間詩と人生の関わりをさぐりつ
けてきた人達の秀れた作品をみ
るごとにフレッシュという感じよ
り言葉の重さ、闊いのようなもの
にまずうたれる。選考をさつきか
ら杉山さんがいっておられる詩人
たちから始めてもらつては——。

杉山 昨年評判になつたのは海尻
巖詩集ですね。朝日新聞の批評で
したが、少し讀め過ぎるほどでし
たが——。

竹中 海尻は半どんの会で文学賞
を取つたのだから外そう。

杉山 それでは三宅武の「赤いカ
ブトムシ」にきめてはどうでしょ
う。和田英子も実力のある詩人で
すが詩集がないし、小川正巳もそ
うです。

竹中 思想詩は重量感もあつてい
いのだが——。

杉山 他に洩らしているような人
はありませんか。

小林 フレッシュということでは
香山雅代、青木はるみ、藤木萌子、
三浦照子等の女流詩人も少しニユ
アンスが違うしね。詩人会議の車
木蓉子など「ともづな」で二回ほ
どみただけでなんともいえません
が、渋谷江美はどうですか。この
人は「灌木」の同人ですね。

杉山 「詩とメールヘン」といつた
新しいセンスが期待できる人です
か。

竹中 いやそれはないようや。「手
紙」を読んだ限りでは自分の分は
知っていることと、書き方が素直
だということは感じるけど。

三宅武にしよう。この「赤いカ
ブトムシ」は言葉がよくこなれて
いるし、なかなか面白いやないか。
それに感情も豊富だし。

杉山 ちよつとつまらないものも
あるけれど、しつかりしているで
しょう。

竹中 装幀がもうちょっとなんと
かならないんだかいなあ。

とにかくこの頃の詩は多辯的

小林 さつきの杉山さんの言葉だ
けれど海尻巖や三宅武のような詩
が評価されるような状況が現代に
はあるということですね。海尻の

出版記念会の時、三宅武が言葉の
基盤というのはやはり私生活の中

から滲み出ないと嘘ですね、とい
う意味のことを述懐していました

が、その席で官公労のある詩人が
何か悩んでいたようですが、お前
など「労働者」という言葉に甘つ
たれども、といった意味の批判を

していました。零細企業で辛惨を
なめた三宅武のいう「労働者」は
随分違つてゐるということてしま
う。入沢康夫が外に向つていた矢

印が、いつせいに内側に向かいそ
れぞれが他を顧みないで自分の庭
の手入れに没頭している。この動

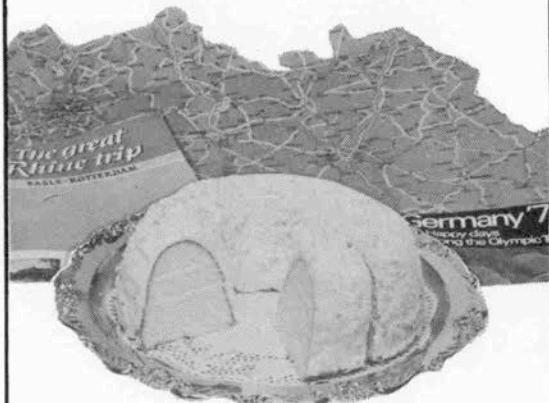
きは、この戦線整理は望ましいも
のか、それとも新しい危機かどう
か究めるべきではないか、五十才
を過ぎた人達は回顧的な美しさが
顕著でかえつて痛ましくみえる。

と読売新聞で問題提起をしていま
したが、そんな意味で三宅武のよ
うな自分の言葉を持つてゐる詩人
が選ばれるのはうれしいことだ
す。

竹中 僕は三宅武の「赤いカブト
ムシ」を推薦する。これに決定し
よう。

編集部 それでは詩集「赤いカブ
トムシ」で本年度のブルーメール
賞受賞者を三宅武さんに決めさせ
て戴きます。 (文中敬称略)

フランクフルトの
白い冠
上品なバターケーキです。



フランクフルタークランツ

ドイツ菓子
Fuerlein's
ユーハイム

このマークの店でお求め下さい

本店 神戸市生田区下山手通2-31 TEL (078) 331-1694
三宮店 神戸市生田区三宮町3-15 TEL (078) 331-2101
さんちか店 神戸市生田区三宮町1-1 TEL (078) 391-3539

いま話題になりつつある!!
ベル・ジュバンス
——美しく若返える

★酸性トリートメント・パーマ ¥8,000から
髪を痛めず新陳代謝を促進し、体
を健康にいたします。

★その他 ¥2,500から

頭・顔・手・足にもトリートメント
でき、老廃物を取り除き、なめら
かで血色のよいお肌をとり戻して
くれます。



脱毛、毛染やコールドバー
ーマによって痛められた
髪、弾力性のない髪の方。
どうぞご相談くださいま
せ。連絡先本店331-8894・4917

畠尾宇多子

株式会社 美容室 **エリザベス**

本店 三宮神社北東三上ビル2F TEL.331-8894・4917
芦屋支店 芦屋市阪神芦屋駅山側 TEL.0797-22-4067

お貸衣裳部

花嫁衣裳サロン 東京初代遠藤波津子直流
畠尾美久子の店

生田神社前通 TEL 331-3258
専属結婚式場 生田神社会館・オリエンタルホテル・阪急六甲山ホテル・蘇州園他

音楽を語る 小石忠男に

●選考委員 吉村 一夫
柴田 仁
小石 忠男
△音楽評論家△
△音楽評論家△



「統・世界の名指揮者」と連載した「レコード芸術」誌

編集部 今年もブルーメール賞音楽部門の受賞者を選考したいと思いますが、昨年一年間での神戸の音楽界の状況をふくめて、活躍された方々を候補者としてあげていただければと思います。

小石 神戸という地域に限るのには少し無理がありますね。昨年も神戸の人が神戸でよくやったというものは見当たりませんね。

柴田 出身は神戸だけれども海外で好評だったとか、神戸ではない人が神戸で演奏会を開いたというの、資格からはずれますか。

小石 神戸以外の人が演奏したとなると、たとえば文化ホールで素晴らしい演奏を披露したとかいう場

合も含んでしまいますものね。やはり一番いいのは神戸の人が神戸で、あるいは芦屋、西宮、大阪ぐらいでいい演奏をした、そしてた

だその一回だけが素晴らしい演奏で、あつたのではなく、今までの累積があるということが重要ですね。

編集部 それと将来、期待できるということも含まないと。

吉村 となると昨年の神戸の音楽界はとても低調ですね。

柴田 もちろん実力のある人もいましたけれど、その人たちもこれという決定打、印象に残る大ヒットはなかつたように思います。

小石 神戸での演奏会そのものが少なかつたですね。もちろん回数

が多ければいいっていうものでもないですか。

吉村 えらい初めからパツとせん話だけどこれが実情かな。

★ピアノも歌も決定打が欲しい

編集部 本当に淋しい話になつてきましたけれど、このへんで具体的に名前をあげていただければ。

小石 具体的にとなるとジャンル別にあげていただきますか。

柴田 まずピアノでは伊藤ルミがコンチエルトをやりました。

小石 それから名前をあげていくと、関晴子。

吉村 関晴子は決定打が欲しいところです。今年ぐらい何かやつて

れだけに決定打がなかなかでにくいのですね。

★安定性をみせた三室堯

柴田 ちょっと変ったところで、衣川加寿子がいます。社会事業として音楽活動をやっています。三田の人ですがね。三田に筋ジストロフィーの療養所があるんです。

吉村 だから累積を待てばいいですね。ここで止めてしまっては何もならないことですからね。

柴田 今年またやります。

小石 ええことですね。

吉村 音楽も社会性の方向に関わっていかないとな。

三室堯がよかったです。

柴田 菅屋高校の先生ですが、出身は神戸高校で、三室が合唱指導している時に神戸高校は全国優勝していますね。

小石 三室は健闘賞ですね。昨年十月の大坂でのパリトン独唱会だけでしたか。

柴田 オペラでていますよ。

小石 安定していますよ。

柴田 ハツタリみたいなことがありませんのでいいですね。

小石 そうですね。まじめそうですね。



吉村 一夫さん



柴田 仁さん



小石 忠男さん

もらいたいですね。いつでもできるだけの実力を持つていますよ。今年は見送つてもいい。今後の機会に期待できますよ。

小石 伊藤ルミはかなり自主性がでてきましたね。今年の秋にまたリサイタルを開きますね。

柴田 昨年の演奏でもとてもよくなってきましたよ。

吉村 他にピアノではいないですか。昨年のピアノ界はちょっとと低調気味でしたね。

小石 歌が比較的多く、しかもよかつたのではないですか。

柴田 每年のように候補にあがってくるところからいくと、テノールの松本幸三、田原祥一郎、高丈二。

小石 メゾソプラノの井上和世は今年帰つてくるそうです。

柴田 松本幸三は今年一月に文化ホールでリサイタルを開きましたね。あの日の演奏はとても良かつたと思いますね。まあ平均的といつてしまえばそうかもしれません。

吉村 松本幸三はいつもいいのですが、されど、いわゆる決定打が欲しいですね。年令的には若いですし一度曲り角があると思いますね。その曲り角を曲つた時点に期待できますね。

柴田 いざにしろ、先日のリサイタルは今年に入つてからのもの

吉村 三室は曲り角を曲ったところだから、これから大きくなりびついて欲しいですね。歌うセンス

というのが出始めましたし、歌い回しができましたね。

小石 最も有力な候補者の一人で

すね。

★神戸で演奏して欲しいテレマン

柴田 ピアノと歌以外には?

小石 テレマンアンサンブルの延

原武春は出演回数が多いと質が高いのとはもちろん別問題ですが、延原は数をこなしています。

柴田 芦屋ルナホールでやっています。

小石 明石市民会館でも定期的にやっていますね。神戸ではありませんが、神戸で演奏したいといっていますね。

吉村 教会でやればいいんですよ。借り貸も安いだろうし、それよりも天井が高くて音響の問題に

してもへんなホールでやるよりもずっといいですよ。座席も決して良くはないけれどちゃんとついていますし。

小石 決定打というところまでには至りませんね。

吉村 延原は今度大阪の府民劇場奨励賞を与えられて、充分に活躍は評価されそして報われていますね。

小石 岡本一郎のいるダンスリー

ルネサンスは昨年何かやりましたか。

吉村 夏にフランスへ行つて、む

こうではかなり評判がよかつたら

しいですよ。

柴田 今年に入つてから県民小劇場で演奏しています。来年の有力

候補になりますね。

小石 何か決定打というのが本当

にありませんね。

柴田 弱りましたね。

小石 クラリネットの朝比奈千足

も大フィルのヨーロッパ公演で吹いて、むこうでかなりいい批評を

受けているので健闘したことは確

かでしようが、我々は演奏を聞いていませんのでね。

★評価したい音楽評論活動

吉村 ところで柴田さん、演奏家

ではなく音楽界で今年の受賞候補

にあげられる人として小石忠男はどうですか。

小石 ダメですよ、それは。

吉村 音楽部門としては別に演奏家でなければならないということ

はないですよ。

柴田 もちろんそうです。

吉村 小石さんは昨年、本(続・

世界の名指揮者／音楽之友社刊)を出しました。そして今までの音

楽評論としての累積は充分評価されなければならないものであり、

実際のところ昨年は小石さんにとって一つのマイルストーンであつたと思います。神戸に密着している点では一番だし。・

たと思います。神戸に密着している点では一番だし。・

小石 密着といつてもどこへも行けないだけの話。それに私は選考委員ですよ。選考委員が受賞するわけにはいきませんよ。

吉村 選考側が受賞者となることは確かにあまり例のないことかもしませんが、演奏者の中では有力な候補者がいないのに無理をして選び出すことはよくないし。

小石 それでは今年は該当者なしで、むこうでかなりいい評価を

して選ぶことはよくないし。

吉村 その該当者ということで、今までの小石さんの業績は受賞に該当するに充分であり、評価しないといけないと思いますね。この

ごろの文章には小石さん自身、自分が表われてきました。これは大いに評価すべきです。

吉村 私も異存ありませんね。

柴田 私も異存ありませんね。

吉村 問題は小石さんがその選考側にいるということですね。

編集部 編集部としては差し支えありません。昨年の活躍ぶり、今までの仕事の累積、そして将来への期待、などが選考の視点になりますので、それらが満たされれば

もちろん受賞していただきますし

それに編集部でも以前から小石さん

の業績は充分に評価していま

たので、今年は小石さんに決定しましょう。

★古典芸能部門選考座談会

花柳吉叟に 花柳吉叟に

選考委員

沼

艸雨

△能楽評論家
△神戸新聞文化事業局長

佐野
順三

漣箕

△邦舞評論家



蘭夫人より



吉叟より

編集部 第一回は花柳芳恵一子さん、第二回が若柳吉由二さん、その次が吉井順三さん、この間が花柳芳五三郎さん、そして今回が第五回目ということなのですが…。まず、舞踊部門ではいかがでしょうか?

佐野 能の世界で舞踊に比べて、特に傑出した人はありますか?

沼 藤井徳三がして来ていますが、まだ一人前として、やるのにはまだですね。

佐野 そうすると舞踊に限定してよろしいですね。

富田 舞踊の会というと、春は合同舞踊、芳五三郎の会なんかがありましたけれど、とにかく傑出し

た舞台というのはなかつたようになります。会の名前だけ言ってみると、若柳桃泉が「闇の扉」をやつて、それから芳一さんの「三ツ

桜会」花柳樂瞳の会、若手の「一方会」、花柳五三輔が会を持ちましたが、五三輔とか五三豊が今年

も国際会館で会を予定していますし、こういう人達が定着して來た

恵一子リサイタル」「四人の会」「共同募金の会」と続きまして、花柳芳次の会がありました。秋の

花柳芳一勢の「奴道成寺」というのは実力發揮という感じでよかったです。この人は隠れた人です

か。

沼 それから、松本尚さんが大阪で会を持っていますね。

富田 こうしてみても、特に印象

富田 舞踊の会というと、春は合

同舞踊、芳五三郎の会なんかがあ

りましたけれど、とにかく傑出し

ん、第二回が若柳吉由二さん、そ

の次が吉井順三さん、この間が花

柳芳五三郎さん、そして今回が第

五回目ということなのですが…。

まず、舞踊部門ではいかがでしょ

うか?

た舞台といふのはなかつたようになります。会の名前だけ言ってみると、若柳桃泉が「闇の扉」をやつて、それから芳一さんの「三ツ

桜会」花柳樂瞳の会、若手の「一方会」、花柳五三輔が会を持ちましたが、五三輔とか五三豊が今年

も国際会館で会を予定していますし、こういう人達が定着して來た

恵一子リサイタル」「四人の会」「共同募金の会」と続きまして、花柳芳次の会がありました。秋の

花柳芳一勢の「奴道成寺」というのは実力發揮という感じでよかったです。この人は隠れた人です

か。

沼 それから、松本尚さんが大阪で会を持っていますね。

富田 こうしてみても、特に印象

に残っているものはありませんけれど、たださつきも言いましたように、花柳五三輔と花柳五三豊とが大阪にも進出したりして会が定着して来たということです。それと若柳光三郎が、まがりなりにも長唄だけという変則の舞踊会でされど開催したと、藤間若緑寿、若柳吉玉世、若柳吉三輝、花柳吟峰、花柳美千友、花柳美ノ太郎、花柳美成ら七名の若手グループの会が「一方会(ひとむき会)」の形として出たということが大きな話題ですね、それから花柳吉叟さんの会も大阪でありますけれど、これも大阪で定着して来ましたね。今回大阪でやるのが彼の理想だったらしいんですけど、毎日ホールへの進出は、彼にとつても満足だつたんじゃないですか。

沼 あの時は「蘭夫人」と「黒い血」でしたね「蘭夫人」は割にドラマとしてはいいものだと思いますね。

富田 「黒い血」は、前衛的なものなので、皆さん好みがありますから、それに対する批判はありますけれど……。

若手では藤間莉佳子は勘寿朗さんの所へ行っていますけど、地道な努力をして実力を身につけていますね。

佐野 私は昨年一年間は、前にも言いましたけれど、やはり長老が



佐野 順三さん



佐野 淳三さん



沼 緯雨さん

健在で、そういう部の厚い中から若手がもまれて出て来るという理想から考えて、昨年に比べて今年は若手のがびて来たと言えるんではないかと思います。けれども、そのびて来た舞台が、過去芳恵

本筋を歩んで来て、ちょっと花が開きかかって来たという感じです

富田 楽瞳さんとこの息子さんの林啓二君も「四人の会」や、お父さんの会や、大阪流舞大会の林流の代表として活躍はしているんですけど、お芝居が主ですから。

佐野 脚光を浴びていますね。

佐野 本人達も自信を持つて来て

富田 本筋を歩んで来て、ちょっと花が開きかかって来たという感じです

富田 楽瞳さんとこの息子さんの林啓二君も「四人の会」や、お父

さんの会や、大阪流舞大会の林流

の代表として活躍はしているんで

すけど、お芝居が主ですから。

佐野 脚光を浴びていますね。

佐野 どちらかというと舞踊活動は少なくなっていますね。

佐野 吉叟さんも大阪で活躍され

て非常に結構なことですが、ブル

一メール賞というのはある程度

地域に根を下ろしたものでないと

具合が悪いんじゃないかと思う

です。

佐野 そう言えば、菊見さんなん

かも、ずっと地道な努力をして、

この間の新歌舞伎座も新作の「母

を傭ぶ」など良い舞台でした。

佐野 非常によく踊られる人です

けど、もう少し、神戸の人と共に踊ってほしいなあと思います。

富田 神戸で会を開くことは少な

いですね。尾上菊都史さんも会を開いた折の「外記猿」に出演して

おりますし、大倉山の岡安さんの会で「四季山姥」踊って、あれな

ものすごい将来性があるとかいう舞台が出てればいいんですけど……。

佐野 まあ、そんな中でのびたと

いうのは、五三輔さんと、五三豊さんじやないです。

富田 脚光を浴びていますね。

佐野 本人達も自信を持つて来て

富田 本筋を歩んで来て、ちょっと花が開きかかって来たという感じです

富田 楽瞳さんとこの息子さんの林

の代表として活躍はしているんで

すけど、お芝居が主ですから。

佐野 脚光を浴びていますね。

佐野 どちらかというと舞踊活動は少なくなっていますね。

佐野 吉叟さんも大阪で活躍され

て非常に結構なことですが、ブル

一メール賞というのはある程度

地域に根を下ろしたものでないと

具合が悪いんじゃないかと思う

です。

佐野 そう言えば、菊見さんなん

かも、ずっと地道な努力をして、

この間の新歌舞伎座も新作の「母

を傭ぶ」など良い舞台でした。

佐野 非常によく踊られる人です

けど、もう少し、神戸の人と共に踊ってほしいなあと思います。

富田 神戸で会を開くことは少な

いですね。尾上菊都史さんも会を開いた折の「外記猿」に出演して

おりますし、大倉山の岡安さんの会で「四季山姥」踊って、あれな

なんかよかつたですよ。

沼 菊見さんの若い子は皆、品がありますね。芳恵一子さんも、リサイタルでは「助六」と「闇の扉」と「雪の道」でしたけど、その努力たるや大したものでした。しかし「闇の扉」なんかで役者とする、どうしても見劣りがして、延はり、ぶつかり合うと、勝負にならないようですね。

佐野 松本尚蒔さんとか尚女さんはいかがですか？

沼 どうも私は尚蒔の芸に対する謙虚さとかいうものがないよう見ていて快く見れないという感じがするんですけど……。

富田 いろいろと勉強しているようですが、尚蒔さんにとってもまだ、舞だけの段階ですから、もつともっと勉強してもらわないとけません。

まあ、これまで挙げた人達の中で対象を絞るとしたら……。菊見さんがもっとと神戸で活躍していてくれたら賞をあげたいですね。

佐野 いい踊りですかね。

富田 今のが舞踊会が全体として中央集権的だから、大阪というよりは東京でリサイタルを開くという人が多い位ですから……。

佐野 まあ、いい舞台ならどこで開いても、それが芸術家の宿命で

ですから中央集権的でもかまわないんですけど、「神戸っ子」という雑誌の性格から言つて、ある程度地域で活躍しておられるの方が多いように思うんですが。

富田 神戸というのは、大阪なんかに比べて、合同でやるといったら協会の会だけですから、各流の人が集まつてやるというチャンスがありませんからね。まあ、そういうことを踏まえてさつと活躍している人は五三輔、五三豊、藤間

緑寿郎、若柳光三郎。

佐野 それと花柳芳五郎、林啓二君。若柳吉里さんもう少し若手が出て来てもいいと思うんですけど、まだ卵という感じですね。

佐野 芸術祭では西川鯉荳さんが「新かぐや姫」をやりましたけど……。

富田 誰にしぶるかということになると、ちょっとつぶが小さい。

佐野 鯉荳さんあたりがもっと張り切つてやつてくれるといいんですけど、ちょっと決め手がない。

富田 舞台として、傑出して印象に残つたものとしては、「奴道成寺」の芳一勢さんがよかつたけれど、それ一つで推せないです。

佐野 能の分野でもありませんか沼 ちょっと若手ということになると、

富田 まあ、十五周年ということですので、あまり粒が小さくなつると。

富田 まあ、十五周年ということ

でもね。菊見さんか吉曳さんかに絞つたらいかがでしようか？

沼 もう少し若手で選んだら……。

佐野 五三輔さんと五三豊さんを将来性を嘱望して、獎励の意味で選んだらいかがですか？

富田 ちょっと若すぎるなあ。それやつたら他にも、緑寿郎君とか光三郎君とか活躍してますから。

沼 すると、やっぱり候補者としては、吉曳さんか菊見さんということになりますか。

佐野 その二人だとすると、より地元で活躍しているという点で、僕は吉曳さんやと思うけど……。

沼 二人とも腕とか、そういう面で、恥ずかしくないですからいいですね。この二人は、三人とも技量を認めているわけですから、ただ、もっと地元でより以上活躍してほしいという条件をつけて選べばいいわけですから……。

佐野 神戸でばつかり踊らないけど、年に一回でもいいからいいのをやつて下さいよ、という条件が必要になりますが、ご自身の生き方とかそういう面から考えて、それが可能となると、吉曳さんが一番有力ということになりますか

富田 従来から幾度も候補に上つてますし。もっと神戸での活躍を期待して、彼に決めましょ。

晴れの日のお支度に……



新作ご衣裳を豊富に揃え、皆様のご来店をお待ちいたしております。



ご婚礼お衣裳

つゝや衣裳店

神戸市生田区三宮町3丁目18
TEL. 078 (321) 0360(代)



神戸っ子に愛されるエレガントな毛皮の数々

チンチラ

神戸・三宮センター街東入口スタイルパレス3F
TEL 078-391-4457

祝
神戸っ子
15周年
15th KOBECCO

乾汽船株式会社

取締役社長 乾 豊彦

神戸市生田区海岸通八番
電話(078)331-1336(代)

株式会社 神戸製鋼所

取締役社長 鈴木 博章

神戸市葺合区脇浜町1-13-1
電話(078)251-1155(代)

玉井商船株式会社

取締役社長 玉井 操

神戸市生田区明石町四十四番地
電話(078)331-1410(代)

白鶴酒造株式会社

取締役社長 嘉納 正治

神戸市東灘区住吉南町四丁目五十五
電話(078)841-1410(代)

兵庫トヨタ

自動車株式会社

取締役社長 潘川勝二

神戸市葺合区磯辺通四丁目2-1-2
電話(078)251-1515(代)

ウシオ工業株式会社

取締役社長 牛尾吉朗

神戸市葺合区浜辺通五丁目2-1-1
神戸商工貿易センタービル18F
電話(078)251-1655(代)

日本香料薬品株式会社

取締役社長 小野一夫

神戸市葺合区脇浜町3丁目3-12
電話(078)321-1975(代)

山陽電気鉄道株式会社

取締役会長 深水惣吉

神戸市長田区御屋敷通三丁目1-1
電話(078)611-1222(代)

菊正宗酒造株式会社

取締役社長 嘉納毅六

大阪府吹田市豊津町九番一号
電話(06)386-1147

株式会社 ダイ工一

取締役社長 中内功

神戸市東灘区御影本町1-17-1
電話(078)851-1000(代)

祝
神戸っ子
15周年
15th KOBECCO

石野証券株式会社

取締役社長 石野 成明

神戸市生田区栄町通二丁目八一
電話 (078) 391-1000 (代)

田崎真珠株式会社

取締役社長 田崎 俊作

神戸市葺合区旗塚通六丁目三十
電話 (078) 231-13321

UCC上島珈琲(株)本社

代表取締役 上島 忠雄

神戸市生田区多聞通五丁目三
電話 (078) 341-13606

竹馬産業株式会社

取締役社長 竹馬 準之助

神戸市生田区元町通三丁目四五三
電話 (078) 391-16651

三宮ビルディング

取締役社長 森本 祢二

神戸市葺合区小野柄通七一
電話 (078) 331-19381

関西貿易株式会社

取締役社長 竹田 剛男

神戸市兵庫区出在家町二一六一
電話 (078) 671-1602 (代)

株式会社 竹中工務店

神戸営業所長 中出 俊郎

神戸市生田区江戸町九二
番地 電話 (078) 391-1753 (代)

伊藤ハム栄養

取締役社長 伊藤 傳三

神戸市灘区備後町三丁目二番二
号 電話 (078) 851-18686

兵庫信用金庫

理事長 園田 正和

副理事長 西本 勝
姫路市北条口一〇八番地
電話 (0792) 821-1255

(株)マツダオート兵庫

取締役社長 橋本 重雄

神戸市兵庫区湊町三丁目三
番地 電話 (078) 576-1506 (代)

(順不同)

祝
神戸っ子
15周年
15th KOBECCO

近藤忠商事株式会社

代表取締役 近藤忠吉

神戸市生田区加納町二丁目三十
電話 (078) 231-14320

株式会社 三 星 堂

取締役社長 上林英一

神戸市生田区山本通二丁目六
電話 (078) 232-14341
(大代表)

甲 南 漬 本 鋪

取締役社長 高嶋平介

神戸市東灘区御影塚町三十九一六
電話 (078) 841-10551

麒麟麦酒(株)神戸支店

支店長 松下親次

神戸市葺合区御幸通四丁目一一
電話 (078) 251-18151

岡添真珠株式会社
栄光宝飾株式会社

代表取締役 岡添貞撫

神戸市生田区山本通一丁目一番地
電話 (078) 242-12424代

川西倉庫株式会社

取締役社長 川西章二

神戸市兵庫区兵庫町一一一三四
電話 (078) 671-17931代

正興産業株式会社

取締役社長 秋田博正

西宮市久保町二一一 多聞ビル
電話 (0798) 321-2701

三輪運輸工業株式会社

取締役社長 三輪吉郎

神戸市葺合区脇浜町二丁目一一一
電話 (078) 251-15001代

光印刷株式会社

取締役社長 南部圭三

西宮市津田町三番六号
電話 (0798) 361-1551

オリエンタル鍍金(株)

代表取締役 高橋宏彰

神戸市長田区苅藻通六丁目一一五
電話 (078) 671-14745

(順不同)

祝
神戸っ子
15周年



15th KOBECCO

樽本汽船株式会社

取締役社長 樽本 久

神戸市兵庫区川崎町九三
電話(078)671-16225

株式会社 淡路屋

取締役社長 寺本 淳巳

神戸市生田区相生町二
神戸駅構内
電話(078)351-11682

神戸船渠工業株式会社

取締役社長 玉井 新吉

神戸市兵庫区西出町二丁目一
電話(078)671-1230(代)

株式会社 宮田組

専務取締役 宮田 喜夫

神戸市兵庫区荒田町一丁目一
電話(078)521-1502(代)

小林桂株式会社

代表取締役 小林 博司

神戸市生田区東町一二三
電話(078)321-1843(代)

(株) ジエキスプレス
代取締役長 池田精一
神戸市生田区新港町官有地
電話(078)332-1225(代)

神戸地下街株式会社

さんちかタウン・サンこうべ

神戸市生田区三宮町一丁目一
電話(078)391-1402(代)

(株) 創建設計事務所

代表取締役 佐川 俊吉

神戸市生田区下山手通五丁目二
電話(078)341-10494

株式会社 ユーハイム

取締役社長 河本 春男

神戸市東灘区住吉宮町六一五三五
電話(078)811-1221(代)

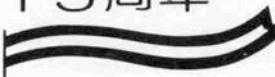
シンエーフーズ株式会社

代表取締役 中内 力

大阪市北区曽根崎中一丁目七二一
(梅田東海ビル8階)
電話(06)312-1443(代)

(順不同)

祝
神戸っ子
15周年



15th KOBECCO

住友ゴム工業株式会社

社長 斎藤晋一

神戸市葺合区筒井町二丁目一一
電話(078)231-4141
(大代表)

神戸土地建物株式会社

取締役社長 西脇親

神戸市生田区三宮町一一
(交通センタービル)
電話(078)391-1223
(大代表)

泉酒造株式会社

取締役社長 泉仙介

神戸市東灘区御影塚町二丁目九一六
電話(078)821-1535
(大代表)

株式会社 フアミリア

取締役社長 坂野通夫

神戸市生田区西町三六
三菱信託銀行ビル8F
電話(078)321-1034
(大代表)

沢の鶴株式会社

代表取締役
西村泰治

神戸市灘区新在家南町五丁目一一二
電話(078)881-1234
(大代表)

サントリ一株式会社
神戸支店

支店長 細江正義

神戸市東灘区浜辺通五一一
神戸商工貿易センタービル
電話(078)231-4141
(大代表)

金露酒造株式会社

代表取締役
大塚和三郎

神戸市東灘区魚崎南町五五
電話(078)431-1635
(大代表)

兵庫日野自動車(株)

取締役会長 後藤末二

神戸市生田区相生町二丁目三三
電話(078)351-1228
(大代表)

角南商事株式会社

取締役社長 角南猛夫

神戸市葺合区小野柄通七丁目一番
(三宮ビル)
電話(078)251-1551
(大代表)

早駒運輸株式会社

取締役社長 渡邊正二

神戸市生田区波止場町中突堤
電話(078)321-1025
中央ビル
(大代表)

(順不同)

祝
神戸っ子
15周年

15th KOBECCO

大和実業株式会社

代表取締役

岡田 一男

大阪市北区芝町五七
西阪急ビル 10階

電話 (06) 372-1857

有限会社 クレセント
インター・ナショナル

代表取締役

王 柏林

神戸市生田区下山手通三一八一九
電話 (078) 391-1444

株式会社 健乳舎牧場

代表取締役

奥 和夫

神戸市兵庫区塚本通三丁目一一一八
電話本社 (078) 575-1008

一代

有限会社 シー・パール

西宮 営業所

山中 崇男

西宮市下大市西町四一二九
電話 (0798) 531-0500

株式会社 パール

取締役社長

松岡 賢蔵

神戸市生田区加納町二丁目一九
電話 (078) 241-1246

(株) N・B パール
(ニューブーン フレッシュ ドレッシング)

代表取締役

保田 信之

神戸市東灘区魚崎西町四一一二三
電話 (078) 851-1459

株式会社 海文堂書店

代表取締役

島田 長雄

神戸市生田区元町通三丁目一四六
電話 (078) 331-1650

株式会社 本庄商会

取締役社長

下井 忠治

神戸市東灘区住吉宮町七一四一
電話 (078) 851-1429

株式会社 ミワボシ

代表取締役

池田 長雄

神戸市兵庫区大開通三丁目一一二一
電話 (078) 576-1670

月刊神戸っ子15周年記念
文化講演会

4月30日(金)5:30PM 開場 6:00PM 開演
神戸文化大ホール
入場料 1,000円
テーマ

わが愛する神戸を語る

楠本 憲吉 氏(俳人)

朝比奈 隆 氏(大阪フィルハーモニー常任指揮者)

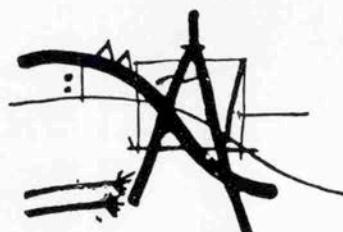
淀川 長治 氏(映画評論家)

祝
神戸っ子
15周年



15th KOBECCO

額縁絵画・洋画材料
室内工芸品



末積製額

三宮・大丸北
トア・ロード
331 1309・6243

日経産業新聞

日経流通新聞

日本経済新聞

100
日経創刊

いまこそ日経です

日本経済新聞神戸支社
078-371-3581~3